

第28回数学史シンポジウム

標記の研究集会を下記の要領で開催しますので、ご案内申し上げます。

世話人 津田塾大学 数学・計算機科学研究所 三宅克哉
立教大学、津田塾大学 数学・計算機科学研究所 佐藤文広
津田塾大学 数学科 長岡一昭

日程：2017年10月14日(土)、15日(日)

場所：津田塾大学5号館 (AVセンター棟) 5206教室

プログラム

10月14日(土)

9:00 - 9:40 飯高 茂

多重完全数とその発展

9:45 - 10:25 田村 誠

『九章算術』 方程術の解釈を再考する

10:35 - 11:15 野村 恒彦

ジョージ・ピーコック『代数学』(1830)における
「算術代数」と「記号代数」について

11:20 - 12:00 堀井 政信

Henri Poincaré et la mécanique céleste
(天体力学の新しい方法)

1:30 - 2:10 平井 武

Schur の単位円盤上の有界冪級数に関する結果と純粋数学以外への応用

2:15 - 2:55 足立 恒雄

サッケーリ《すべての痣を消し去ったエウクレイデス》

3:05 - 3:45 鈴木 真治

生命保険数理としての責任準備金の歴史

3:50 - 4:30 但馬 亨

近代弾道学研究の成立

4:40 - 5:10 神谷 徳昭

安藤有益の奇偶方数について

(懇親会)

10月15日(日)

- 9:00 - 9:40 田中 紀子
Paul Lévy の数学の魅力ー伊藤清・飛田武幸の視点からー
- 9:45 - 10:25 難波 完爾
2次形式とその theta 級数について
- 10:35 - 11:15 三富 照久
比較科学史とパラダイム論〜斎藤憲氏の学説について〜
- 11:20 - 12:00 斎藤 憲
ギリシャ語数学文献構文解析における文法の定義および解析作業の現況
- 1:30 - 2:10 高瀬 正仁
多変数関数論の泉 源泉への回帰の試み
- 2:15 - 2:55 中村 滋
室井和男新著「シュメール人の数学」について
- 3:05 - 3:45 増田 茂
Laplace, Gauss 及び Poisson による毛細管現象記述の数学的理論
- 3:50 - 4:30 宮田 義美
沖繩の結繩(藁算)の数学史における位置